

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公表番号】特表 2019-528271 (P2019-528271A)

【公表日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-041

【出願番号】特願 2019-508842 (P2019-508842)

【国際特許分類】

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/275 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

C 1 2 N 15/39 (2006.01)

C 1 2 N 15/40 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 48/00 Z N A

A 6 1 K 39/275

A 6 1 P 31/20

A 6 1 K 35/76

C 1 2 N 15/39

C 1 2 N 15/40

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 3 日 (2020.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

チクングンヤ熱とジカウイルスと天然痘の感染のリスクを低減する、免疫応答を、動物において惹起するための組成物であって、該組成物が、医薬的に許容される担体及び弱毒化したボックスウイルスを含み、該ボックスウイルスのゲノムが、チクングンヤ熱ウイルスの 26S サブゲノムポリプロテインをコードする核酸配列、及びジカウイルスの PrME ポリプロテインをコードする核酸配列を含む、組成物。

【請求項 2】

チクングンヤ熱と天然痘の感染のリスクを低減する、免疫応答を、動物において惹起するための組成物であって、該組成物が、医薬的に許容される担体及び弱毒化したボックスウイルスを含み、該ボックスウイルスのゲノムが、チクングンヤ熱ウイルスの 26S サブゲノムポリプロテインをコードする核酸配列を含み、内在的な必須の集合、成熟タンパク質をコードする遺伝子の欠失を更に含み、及び / 又は組成物の免疫原性を増大させる、組成物。

【請求項 3】

ジカウイルスの感染と天然痘の感染のリスクを低減する、免疫応答を、動物において惹起するための組成物であって、該組成物が、医薬的に許容される担体及び弱毒化したボックスウイルスを含み、該ボックスウイルスのゲノムが、ジカウイルスの PrME ポリプロテインをコードする核酸配列を含み、内在的な必須の集合、成熟タンパク質をコードする遺伝子の欠失を更に含み、及び / 又は組成物の免疫原性を増大させる、組成物。

【請求項 4】

前記弱毒化したボックスウイルスが、改変ワクシニアアンカラ (MVA)、NYVAC、アビボックス、カナリアボックス及び鶏痘からなる群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記弱毒化したボックスウイルスが改変オルトボックスウイルスであり、前記改変が、内在的な必須の集合、成熟タンパク質をコードする少なくとも 1 つの遺伝子の欠失を含み、及び / 又は組成物の免疫原性を増大させる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記改変が D 1 3 L 遺伝子の欠失を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記改変が K 1 L 遺伝子の欠失を含む、請求項 5 又は請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記改変が A 3 9 R 遺伝子の欠失を含む、請求項 5 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記改変が B 7 R - B 8 R 遺伝子の欠失を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記改変が D 1 3 L 遺伝子、A 3 9 R 遺伝子及び B 7 R - B 8 R 遺伝子の欠失を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記医薬的に許容される担体がアジュバントを含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

前記アジュバントが水酸化アルミニウム、リン酸アルミニウム、硫酸アルミニウムカリウム、水酸化リン酸カルシウム、フロイント完全アジュバント、フロイント不完全アジュバント、i s c o m 及び i s c o m マトリクスからなる群から選択される、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

チクングンヤ熱と天然痘、天然痘とジカウイルスの感染及び / 又はチクングンヤ熱と天然痘とジカウイルスの感染に対する、被検体における防御免疫応答の誘導において使用するための、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物。